

建設防災 ボランティアニュース 第88号

目次

- ・ 定期総会、懇親会
- ・ リーダー・サブリーダー会
- ・ 南東建との意見交換会
- ・ 春休みの勝どきミニツアー
- ・ 新入会員の紹介 他

令和7年度定期総会開催

令和7年5月28日(水)に、東京都道路整備保全公社17階大会議室 AB で、第29回定期総会が開催されました。

【山口会長挨拶】

山口会長より来賓の方々への日頃の支援に対して御礼の挨拶がありました。

今年は、阪神淡路大震災から30年で、それ以降も大きな地震が、2003年・北海道十勝沖、2004年・新潟県中越、2011年・東日本大震災、2016年・熊本、2024年・能登半島で発生しました。また、水害も台風19号、球磨川の氾濫、能登半島と日本各地で起こっており、最近では、災害は忘れないうちにやってくるという状況です。当協会も平成9年の阪神淡路大震災を機会に設立され様々な活動を行ってきましたが、会員も高齢化しており現実的な対応をするために、建設局と協議を重ねてきました。事業計画で説明があると思いますので、よろしくお願いいたします。



【花井建設局長】

ボランティア協会の皆さまには、日頃から局初動対応訓練、道路の施設点検、河川愛護月間行事、勝どき橋ミニツアー、橋と土木展等への様々なご支援、ご協力を頂いていて、改めて深く感謝申し上げます。



昨年は、台風の影響で東京都総合防災訓練は

中止となりましたが、今年も同じ時期に多摩地区で開催されることとなりますので、協力の程よろしくお願い申し上げます。

東京都の防災関係を紹介いたしますと、東京都地域防災計画の火山編の改定で富士山の噴火による火山灰への対応を具体化し、建設局 BCPの策定、震災対策の手引き(ナマズ本)を改定、災害時にはこれらをベースに活動していきますが、それよりなにより防災ボランティアの皆さまの豊富な経験が重要となってきますので、今後とも当局と一層の連携をお願いしたい。

【湯川道路整備保全公社理事長】

4月から三浦さんより理事長を引き継ぎました、湯川です。どうぞよろしくお願いいたします。ボランティア協会の皆さまには日頃から公私にわたり



ましてご助言とかご協力を頂いており、この場をかりて御礼申し上げます。特に勝どき橋ミニツアーに多大なるご協力を頂いて、当公社の

重要な事業の一つで、しばらくの間コロナで中止していましたが、令和4年から再開し大変に好評で、令和4年が20回で97名、令和5年が82回で417名、令和6年が85回で469名となり、着実に参加者が伸びています。

今年は、勝どき橋ミニツアーを初めて20周年となり、参加者に記念グッズを配付することとなりました。

残念ながら、今年の9月から建設局で塗装工事が始まることとなり、ミニツアーを中止することとなりました。今後、どのような代替えの活動をするのか検討しますので、また、ご協力の程よろしくお願い

いたします。

【矢岡公園協会理事長】

ボランティア協会の皆さまには、日頃より公園協会の事業にご協力頂き感謝申し上げます。

昨年、能登半島地震から1年半ですが、水害や山火事等の災害はいつどこで起こるか分かりません。災害に対する備えは待ったなしで、当協会は、管理する公園は、災害が起こった時の避難場所や復旧のための用地となることから、日頃から円滑に活用ができるように取り組んでいます。具体的には、早朝の参集訓練など日々絶え間ない訓練を行い、災害発生時に備えています。

また、災害時の水上バスについては、帰宅困難者や様々な支援物資の運搬等の役割を担っており、機会を捉えて訓練をしています。

今後とも、防災ボランティア協会の皆さまと連携・協力しながら、災害時の対応を行っていきます。

議事の概要

ご来賓退席後、高橋理事の司会進行で議事に移り、最初に議長選出があり、昨年度に引き続き議長には藤田進さんが選任されました。藤田議長の進行で、令和6年度事業報告を横井副会長が、令和6年度収支決算報告を細川理事が説明し、新井監事の会計監査報告を受けて、会員の拍手により承認されました。

次に令和7年度の事業計画(案)、収支予算(案)について、それぞれ横井副会長、細川理事から説明があり、柿塚会員から震災時の参集の改定について意見がありましたが、会員の拍手による賛成多数で承認されました。

また今年度は、役員交代があり、新会長に相場淳司さんが選任され、加藤理事及び高橋紀男理事が退任され、新たに岡村理事、地引理事、高橋宏彰理事が選任されたことが相場新会長より報告されました。続いて事務局書記が紹介され、今年度は公園協会の久間亜紀さん、道路整備保全公社の正木佳さん、川久保和子さんに担当して

頂きます。よろしくお願いいたします。



川久保さん 正木さん 久間さん

議事終了後、協会活動に貢献されてきた会員の方々に相場会長から感謝状が贈呈され、また新入会員の紹介等がありました。

六建班 清水幸一

ありがとうございました！

● 年間 10 回以上活動会員 (以下敬称略)

- [18 回] 清水幸一 [16 回] 多澤秀信、若尾啓介
- [14 回] 石坂弘司、小川和雄、奥秋聡克
小林一浩
- [13 回] 齋藤俊之、望月裕 [12 回] 岡村浩志
- [11 回] 加藤直宣、佐野正生、杉橋要、高尾弘幸
中込孝仁、西村行正、林幹生、古川俊明
- [10 回] 岡上樹、島津哲也、地引尚治、高橋紀男
橋本一郎

● リーダー交代者(退任)

二建班 古川俊明、北南建班 池田繁敏

● 永年会員表彰

- ・10 年継続会員 青木正、遠藤正宏、佐々木雅紀
長島修一、廣木良司、藤田雅人
星野宏允、村山公一、横井純夫
横溝良一、若尾啓介
- ・15 年 小口建蔵、佐野正生、高橋紀男、
谷村秀樹、手塚博治、平野敬治、
藤江賢治
- ・20 年 杉本隆男、平田忠夫、丸岡敏夫
吉田征人
- ・25 年 二宮克弘

● 本部役員退任者

加藤基雄、高橋紀男

よろしくお願いします！

- 新入会員 飯田有貴夫さん、後藤謙二さん
後藤広治さん、高瀬照久さん
高橋義明さん、吉原信貴さん

山口前会長退任のご挨拶

令和元年度より会長を仰せつかっておりました6年の間は、歴史ある本協会の発展と円滑な運営に向け、リーダーとしての役割の大きさ、責任を痛感しておりました。加えて任期の半分以上はコロナ禍に見舞われ、総会や理事会などの開催ができない時期もあり、また建設事務所との道路施設等点検、河川愛護月間はじめ勝どき橋脚内ツアーなど日常活動もほとんど出来ず、協会の存続、そのものが危ぶまれるなど会長としての力不足を申し訳なく思っておりました。しかし、役員はじめ会員の皆様のご努力ご協力により協会事業を継続することが出来、なんとか会長の職を務めきることができました。心よりお礼申し上げます。



さて、社会全体の高齢化が進むなど協会を取り巻く状況も大きく変化してきました。定年の延長などにより新規入会会員の確保が難しくなるとともに、高齢化を理由に退会する会員も多くなっております。協会組織を維持し、事務所と連携した日常活動を継続していくうえで、会員数の確保は不可欠です。どうぞ相場新会長の下で、社会状況に即し更なる充実した協会に発展していくことを心より願っております。また今後も会員としてできる限り協会活動を続けて参りますので宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、協会活動にご理解ご支援をいただいております東京都建設局、(公財)東京都道路整備保全公社、(公財)東京都公園協会の益々のご発展、ならびに会員の皆様の一層のご健勝ご多幸を祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

顧問 山口明

相場新会長就任のご挨拶

この度、山口前会長より、当協会の会長を引き継ぐこととなりました相場です。みなさまどうぞよろしくお願いいたします。歴史ある当協会の会長に就任して、改めて責任の大きさを痛感しております。当協会が発足する契機となりました兵庫県南部地震の発生後も、日本各地で東北地方太平洋沖地震や熊本地震、北海道胆振東部地震、能登半島地震など、数多くの大規模な地震活動を経験してきました。東京でも、今後30年間で7割の発生確率で、直下型地震の発生が懸念されています。会員のみなさまのこれまでの経験や知識を活かして、大規模地震の他、激化する降雨災害等にも備え、都民の安全安心の一助となれるよう活動してまいりたいと考えています。



当協会の活動は、災害に備えた訓練活動等にとどまらず、勝どき橋の見学ツアーガイド、道路施設等点検、河川愛護に関する取組など、多岐にわたっています。こうした活動を円滑に進めるためには、会員のみなさまの積極的なご支援が欠かせません。みなさまにおかれましては、健康維持に留意され、引き続きご協力を賜れば幸いです。

当協会も発足から28年を迎え、発足当時からご尽力いただいたみなさま方の高齢による退会増や、高齢化に伴う活動内容の見直しなどの課題も抱えており、新たな退職者の勧誘による新規会員の確保など、皆様方と一緒に取り組まねばならない課題と考えています。また、建設局本庁、各事務所、(公財)東京都道路整備保全公社、(公財)東京都公園協会との連携強化も引き続き図ってまいります。

最後になりましたが、山口前会長をはじめ多くの先輩会員の方々のご尽力に敬意と感謝を表します。微力ではございますが、協会の一層の発展に向け努めて参りますので、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます、就任の挨拶とします。

会長 相場淳司

懇親会

恒例の懇親会は、総会終了後、都庁第一庁舎 32 階職員食堂に場所を移し、60 名を超える参加者で盛大に行われました。

懇親会としては、1 月に開催された建設局幹部との交流会に引き続き、本庁舎内の会場であったことから、懐かしさを感じる中での開催となりました。

横井副会長の司会のもと、活動歴 20 年の加藤様の乾杯の御発声で会が始まりました。その後、新規入会者からの挨拶などがありました。立席での懇親であったこともあり、交流も盛んに様々な場所で歓談が進み、都庁時代の事業のお話や今後の事業の方向性など、いまだ現役ながらのご発言もあるなど、都庁を愛しているのが伝わってきました。

その中で、大先輩から防災意識の高い発言などもあり、改めて建設ボランティアの立ち位置を再

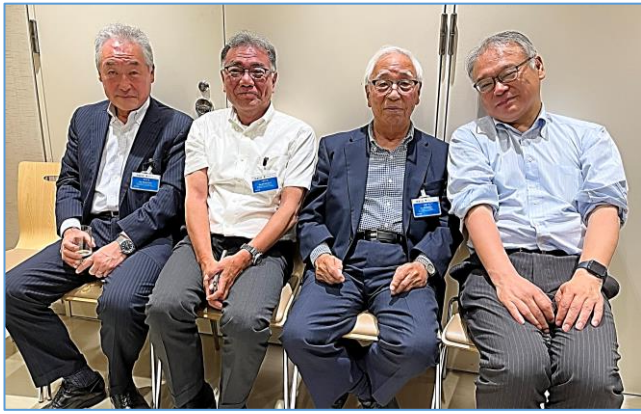


認識した会でもありました。

そのような中、あっという間に定刻となり、最後は、佐藤副会長の締めで盛会のうちに、名残惜しくも宴は終了しました。

三建班 高瀬照久





リーダー・サブリーダー会議開催

6月23日(火)14時から道路整備保全公社17階の会議室で、各事務所班リーダー・サブリーダーと理事の合同会が開催され、担当理事から今年度の活動についての報告とお願い質疑応答が行われました。

今年度はリーダーが3名、サブリーダーも3名が新メンバーとなりました。合同会終了後、本庁各部には理事が、各事務所にはリーダー・サブリーダーが今年度の事業計画を届けました。

以下に合同会の内容をまとめました。

1. 役員、リーダー・サブリーダーの紹介
2. 各行事の予定等について担当理事から説明しました。
 - 1) 道路施設等点検については例年前・後期に分けて実施していましたが、今回から期間内(6月24日～2月27日)であれば事務所の裁量で実施方法が決められるようになりましたので、各事務所との調整をお願いします。
 - 2) 河川愛護月間行事は、7月5日(土)の「環七地下の巨大トンネルを体験」から始まり、「わくわく川清掃&川あそび」「夏休み多摩川教室」「川のパネル展」「川を歩こうー多摩川・奥多摩」「川を歩こうー旧中川・隅田川・石神井川」の9つの行事が10月まで開催される予定。各事務所との調整をお願いします。
 - 3) 勝どき橋ミニツアーは、勝鬨橋の耐震化工事のため9月から3月末まで中止します。現在、水上バスを利用した代替ツアーを予定しています。
3. 活動報告について

活動報告は、各行事毎に3名の理事で担当するので送付先を注意して下さい。
4. 緊急連絡表の作成について

作成後速やかに担当理事に送付願います。

5. 事業計画書の配布について説明
6. ボランティア保険について説明
ボランティア保険のパンフレットで説明
特に熱中症も補償対象になります。

担当理事 鈴木秀一

「子供たちの勝どき橋ミニツアー」

～～～春休み編～～～

春休み中、特に3月27日は午前・午後合わせて13人の子供達が勝どき橋ミニツアーに参加してくれました。みんな元気で、ガイドの話にも熱心に耳を傾けていました。今回はその子供達が感想文・イラストを送ってくれましたので紹介します。

【寄稿】

こんにちは。去る3月27日午後の部に参加させて頂きました。勝どき橋ミニツアーは春休みで、人気の回だったとか。わが家も小学生の娘と中学生の息子と参加し、普段見られないはね橋の内部を見学でき驚きでいっぱいでした。

娘はその地下部分を絵にし、感想も書いたので、お収め頂ければうれしいです。

地下の部分のまだ春先で冷んやりしていたこと、夏はコンクリートが太陽で暖められて蒸し暑いことをガイドさんにお話頂き、人の手でつくられた建造物であることを改めて感じました。橋から見る築地、東京湾の景色も格別でした。日々進化する東京の様子と、何十年もメンテナンスしながら暮らしを支える橋を見比べながら、爽やかな風に吹かれて心地よかったです。娘は、「しばらくここに居たい」と言ったくらいでした。本当に勉強になりましたし、東京の良さを実感しました。ありがとうございました。

西脇

(写真・AM)



《杉並区 小学三年生 西わきしおり さん》

ボランティアガイドのみなさんへ
勝どき橋のそうさ板にたくさんスイッチがあつたことや、船が通る時に橋が入るへやがあつたことは知りませんでした。みんなで3.5mのはしごをおりていろんなことを教えてくれたのも楽しかったです。橋のことをいねいに教えてくれて本当にありがとうございました。

杉並区 小学三年生 西わき しおり

聞いて・見て・触って





(写真・PM)

講演会・懇親会を開催しました

南東建班

コロナ以前、南東建班では講演会と懇親会をセットで行うことで、現役の方々に防災ボランティアの知見を活かして頂くとともに、親睦を深めてきました。

コロナが終息し日常生活が戻ってきた状況のなか、南東建に講演会・懇親会の復活をお願いしたところ、鈴木所長のご判断で、工事安全対策委員会活動の一環として、5年ぶりに5月21日に講演会を開催し、その後懇談会・懇親会を行うこととなりました。講演会の演題は、タイムリーな八潮市の道路陥没事故の原因考察と、それに関連する25年前に起きた南東建での道路整備工事中の陥没発見と対応の事例報告でした。講師は、防災ボランティア南東建班員で実践基盤工学の大家、杉本博士と佐々木技術士によって行われました。

八潮市の陥没事故の原因と思われるのは、事故箇所の地盤の状況とコンクリート管の硫酸劣化によるのではないかのことでした。パワーポイントを活用した分かりやすい解説で、納得の説明でした。

南東建の工事中に発見された陥没は、掘削した地層が均質な稲城砂だったため、雨水がボーリング跡孔等を通じて、55年程前(空洞発見時の30年程前)に施工された下水道幹線工事の残余の空洞に流れ込んだことが原因でした。当時の南東建職員が現場を注意深く見回したことで陥没の兆候を発見し、さらに旧土研と連携し適切な対応を取ったことで、未然に大事故を防ぐことができました。

懇談会では、南東建において今後延長2kmのトンネル工事が進められる中、講演会の事例等を参考に工事に取り組み、安全に工事を進めていくとの、前田副所長の工事安全への思いを強く感じることができました。

その後会場を移して懇親会が行われました。南東建の出席者は、鈴木所長、前田副所長、鈴木庶務課長、山下管理課長、吉岡用地課長、佐野南多摩尾根幹線工事担当課長、田中補修課長の7名でした。



防災ボランティア南東建班の参加者は、柴田賢次、織田和俊、杉本隆男、武内利夫、矢内和夫、大坪安則、佐々木俊平、若林茂樹、岡村浩志、若尾啓介の10名(原田龍次:講演会・懇談会に参加)でした。

懇親会冒頭の鈴木所長のご挨拶にありましたように、災害時の活動等においては「顔見知り」関係が重要であり、今回のような取組を続けることで、災害時の活動の円滑化に寄与できるものと実感しました。

さらには、今回の講演のようにOBの知見を活用して頂くことが、安全で効率的な建設行政の推進に貢献していくものと確信しています。

末筆ですが、所長・副所長・各課長、さらには講演会等をサポート頂いた戸田統括課長代理を始めとする工事課の皆様方に感謝致します。併せて、ご参加の皆様、お疲れ様でした。

南東建班リーダー 若尾啓介

〔南東建での講演概要〕

最近の地盤災害

～道路陥没とその原因は？～

最近、地震、台風、豪雨、山林火災、そして道路陥没など、様々な災害が起こっています。災害の多くは地質・地盤と密接に関係しますので、講演題名は「最近の地盤災害～突然の道路陥没、その原因は～」というものでした。その一部をご紹介します。

地質・地盤リスクマネジメント

2016年11月8日福岡市地下鉄工事現場で起こった道路陥没事故を受け、国土交通省は「地下空間の利活用に関する安全技術の確立について」の答申を行いました。そして「土木事業における地質・地盤リスクマネジメント」のガイドラインを作成しています。

その概要をまとめると図-1 のようになります。

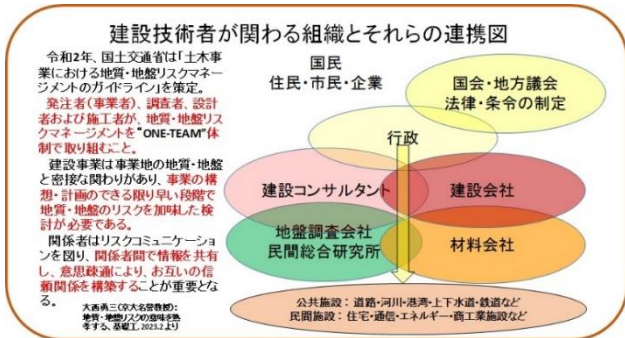


図-1 地質・地盤リスクマネジメントの ONE-TEAM

①発注者、調査者、設計者および施工者が地質・地盤リスクマネジメントを「ONE-TEAM」体制で取り組むこと。②事業の構想・計画のできる限り早い段階で地質・地盤リスクを加味した検討を行うこと。③関係者間で情報を共有し意思疎通によりお互いの信頼関係を構築すること。

すなわち、事業ごとに潜んでいるリスク（マネジメント）の見える化を図って共有し、関係者が強く連携して活動（ONE-TEAM 体制）しましょうということです。このための経験・知識のある専門技術者の参画が必要であるとしています。

突然の道路陥没と空洞発生メカニズム

ところで、今年1月28日に埼玉県八潮市で突然に道路陥没が起こり、トラックが落下して地表から約10m下の内径4.75mの下水道管を壊し管内に落ちました。道路下に空いていた空洞が原因なのですが、空洞はどのようにして起こるのか、空洞発生メカニズムから話を進めます。

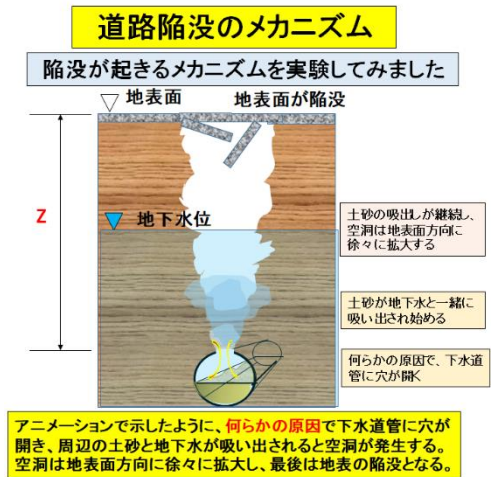


図-2 陥没発生メカニズム

講演では空洞発生メカニズムを図-2 のアニメーション・スライドで説明しました。

“何らかの原因”で下水道管に穴が空き、その周辺の土砂が地下水とともに吸い出され、下水道管上部に小さな空洞が発生します。土砂の吸出しが続き空洞は地表面方向に徐々に拡大していき、最後は地表面の陥没となります。

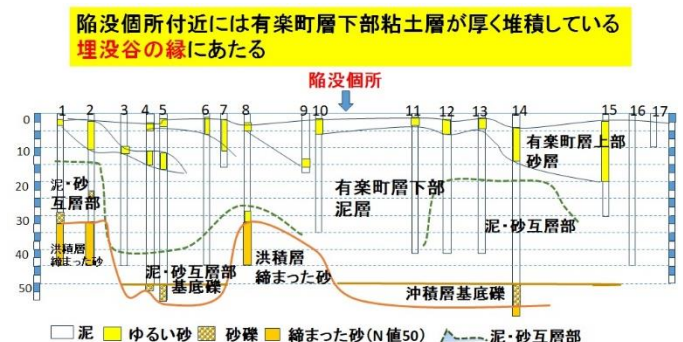
下水道管に穴が空いた“何らかの原因”とは？

下水道管に穴が空いた原因を2, 3推定してみました。下水道管は大口徑コンクリートセグメントを使ったシールド工法で施工されていました。

①下水道管が敷設されている地層の層相変化

道路陥没が起こった場所は、図-3 の地質断面図に示すように埋没台地から埋没谷へ移行する層相が変わる場所であり、下水道管底が縦断方向に砂層区間から泥層区間へと変化するため、地盤沈下量に差が生じ、不同沈下が起こる可能性があります。

図-3 地質断面図



② 下水道管路の平面線形の影響

下水道管路の平面線形は交差点部に構築された立坑を境にして曲っており、断面(図-4)は下水道管の内径が上流側 3.0m、下流側 4.75m で、汚泥が滞留して硫酸劣化が起きやすい場所でした。

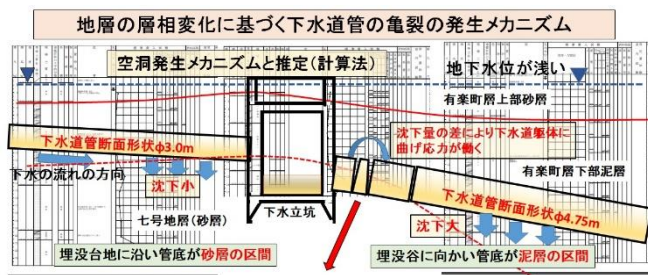


図-4 下水道管の亀裂発生メカニズムの推定

③ 下水道管セグメントの種類(コンクリート製)

文献調査で、硫酸劣化によるコンクリート管の腐食が激しい場合に、6年間の共用で60mm厚のコンクリートが30mm厚まで腐食した例があることが分かりました。この場合について試算したところ、安全率を超える可能性を示す結果が得られました。硫酸劣化による断面剛性低下のためです。ただし当該下水道管は構築後かなりの年数が経過しているものの肉厚が950mmであり、硫酸劣化がどれほど進行していたかを調べる必要がのこります。

以上の検討では、下水道管に穴が空いた原因を特定するまでは至っていませんが、地盤の層相変化による不同沈下の発生が疑わしいといえます。最終的には、「原因検討委員会の検討が進んでいますので、その報告を待つこととしたい」と、まとめました。

陥没の兆候を現場監督職員が発見

図-5は道路拡幅で斜面下の擁壁構築が終わり、道路舗装の路床面となる地山を整形掘削中に台風豪雨があり、擁壁基礎直下に空洞を発見した事例です。陥没場所の地形地質は、多摩丘陵の稲城砂層が堆積する場所でした。発見は職員による現場の見回りでした。

調べた結果、空洞で失われた土砂は空洞発見時の約30年前の、トンネル工事中の事故処理後に残っていた空洞へと流れたことが分かりました。

モルタル注入で削孔した古いボーリング孔に沿って、雨水浸透と一緒に土砂が流れ下ったのです。そのトンネルは地上から約50mの深いところ

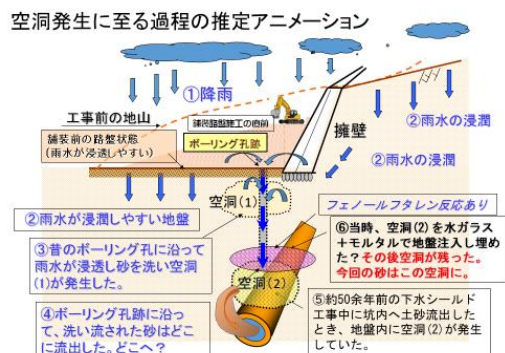


図-5 台風豪雨による深いところに残った空洞への雨水と土砂の浸出に起因する陥没

の稲城砂層中を泥水加圧シールド工法で施工しており、工事中にトンネル前面地盤の崩壊で坑内に土砂流出事故を起こしていたのです。すなわち、トンネル掘削中に発生した掘削前面の空洞へモルタル注入をしたのですが、残った空洞が後年に地表部の擁壁工事中の陥没を誘発した事例でした。

地質・地盤リスクを避けるには

最後に、工期・建設費・発注者の意識について触れまとめました。

- ・急いては、いいものはつukれない
- ・安ものに、いいものはない
- ・優れたアイデア・技術は、安価では買えない

この講演が、計画・調査・設計・施工・維持管理に携わる方々の参考となり、地質・地盤リスクに打ち勝ち、インフラ整備に役立つことを願って終わりました。

あとがき

本講演は、事前調整をして頂きました事務所関係者の皆さまと、南東建班リーダー若尾啓介・サブリーダー岡村浩志両氏のご尽力によるものでした。紙面をお借りし、御礼申し上げます。

本記事は、令和7年度総会懇親会の折、編集担当から、5月21日に開催した南多摩東部建設事務所との意見交換会で行った講演内容を“建設防災ボランティアニュース”で紹介したいとの意向を受けて取りまとめたものです。

南東建班 杉本隆男・佐々木俊平

新会員のご紹介

〈高橋義明さん〉

六建班

今年度から当協会に入会させていただきました高橋と申します。よろしくお願いいたします。



令和3年度末に江東治水事務所内部河川工事課を最後に定年退職し、その後3年間、東京都公園協会河川事業支援課に勤めておりました。

この4月から(株)日本インシークでお世話になっております。

日頃の運動不足もあり、足腰の衰えを痛感している今日この頃です。諸先輩方の足手まといにならないよう、民間1年生として、事務所回りに精を出し、少しでも体力維持が図れるよう努めてまいりたいと考えております。参集場所は、第六建設事務所となりましたので六建班でお世話になります。

微力ながら少しでもお役に立てられるよう努めてまいりたいと思います。引き続き、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

〈高瀬照久さん〉

三建班



今年度から当協会に入会させていただき、三建班の担当になりました高瀬です。令和5年に、西多摩建設事務所で、定年退職し、その後2年間、東京都道路整備保全公社に勤め、令和7年4月より、(株)エイト日本技術開発に勤めております。

都庁生活35年は、ほぼ道路一筋に歩んでまいりました。そのうち、11年(1/3)は、危機管理部門である補修課に在籍し、水害・雪害など様々な災害対応を経験してまいりました。その間、防災ボランティア協会の諸先輩の皆様には、大変お世話になり感謝申し上げます。災害対応での経験では、初期対応の大切さを学んでまいりました。東日本大震災の時は、職員のみならず、自らも、日

暮里舎人ライナーの点検などを行い、震災後の点検の重要性を認識いたしました。

都庁退職後は、危機管理から離れ、のんびり過ごせるかなと思っていましたが、現在、孫二人と一緒に住んでおり、日々にぎやかかつ忙しい生活をしております。よく皆様が孫に対して、おっしゃっている「来てうれしい、帰ってうれしい」とは程遠い、毎日が気疲れの連続ではありますが、しかし、「じいじ大好き」と言われると気疲れもなんのその、それも吹っ飛ばすほど元気をもらっています。

今後は、皆様とともに、都の職員の下支えをしながら、東京のまちの安全安心に貢献していく所存です。引き続き、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

〈後藤謙二さん〉

六建班

平成31年3月末で定年退職し、一建で再任用2年、その後、道路整備保全公社で4年勤務し、本年3月末をもって、都の関係とも縁が切れました。4月からは、常盤工業(株)にお世話になっております。外郭団体を含め、38年間の都歴のうち、33



年間で建設局で過ごすことができ、少しでも恩返しの気持ちから建設防災ボランティア協会に入会いたしました。希望がかなって、6建班に加えていただきました。よろしくお願いいたします。

「災害は忘れたころにやってくる。」とは言われますが、近年の被災状況を鑑みますと、毎年どころか、年に数か所で甚大な被害が起こるようになっていと感じます。局現役世代への一助に、少しでもなれればと思っています。

現在は、週3日勤務で、余暇の充実度が増してきました。もともと多趣味なうえ、妻の助言により定年後に本格的に始めた「手打ちそば」ですが、当初の「自分で打った蕎麦を食べてみたい。」から、段位取得に重点を置くようになってきました。11月の3段位認定審査に向け、鋭意取り組んでいます。また、家庭菜園や園芸、養蜂や山小屋遊び

など、目まぐるしく動き回っています。一週間が本当に短く感じます。前期高齢者となり3年が経ちますが、体力や回復力に衰えを感じるようになってきました。少しでも抗って、ピンピンコロリを目標に、今後とも様々な活動に取り組んでいこうと考えています。

〈吉原信貴さん〉

二建班

公園協会で水辺事業部長を3年間勤め、この4月から、西松建設にお世話になっております。宜しくお願い致します。

参集事務所は二建になりました。二建といえば、若いころ二課に居たことがあり、荏原調節池や古川の設計をしていた頃を懐かしく思い出します。



一方、平成11年の豪雨で、五反田駅前が水没したり、古川が溢水するなど大きな被害が出て、当時、皆で大変苦労した事も鮮明に覚えています。以降、少しずつ治水安全

度も向上してきており、現役世代の今後の取組にも大いに期待しているところです。今後は、ボランティア協会の一員として、いつでも起こりうる災害に対し、少しでも事務所の活動に貢献できれば幸いです。

さて、自己紹介ということで、恐縮ですが私事を少々。趣味は日本酒で、毎晩楽しんでます。先日5月28日の懇親会で、爽やかなリングを思わせる夏にふさわしい酒を紹介したら、興味を持たれた方が居たので、この場で紹介します。秋田の飛良泉本舗から出ている飛囀(ひてん) シリーズで、山廃仕込み由来のコハク酸、焼酎で使われる白麴由来のクエン酸、きょうかい77号酵母由来のリング酸の三種の酸が融和して絶妙な味わいです。その他77号酵母のお酒は、同じ秋田の阿櫻(もぎたてりんごちゃん)や千葉の甲子(きのえねアップル)でも楽しめます。見かけたら是非。

〈後藤広治さん〉

四建班

このたび、建設防災ボランティア協会に入会させていただきました後藤です。よろしくお願いします。



私は、昭和59年4月に入都し、7年間下水道局に在籍の後、主任への昇任時に建設局に異動してきました。建設局での最初の職場は、二建の工事工区でした。担当は、橋の現場です。初めての橋の工事は、とても面白く毎日現場に通っていました。その次は、「ゆりかもめ」の建設担当です。「都市博に間に合せろ」と尻を叩かれ、やっと先が見えたと思ったら、知事が替わり都市博が中止になり、「空気を運ぶのか」と揶揄されたのを覚えています。それでも開業後は、盛況で嬉しくなりました。その後、建設局では五建の橋りょう建設課も経験しました。当時は、清砂大橋、高砂橋、豊島橋が最盛期だったころでした。

初めての管理職は、平成20年に四建の補修課長です。この年はゲリラ豪雨という言葉が初めて使われた年で、7月、8月の毎週末には大雨警報が発令されたことをよく覚えています。17年後の今回、防災ボランティアとして四建班に配属されました。縁を感じ、ありがたく、また光栄に思っています。

その他、中央環状品川線を担当しました。共同事業者でありライバルでもあった首都高との仕事で、煩わしくも楽しかった記憶があります。



このように区部の事務所の仕事が多かったのですが、最後の職場は西建でした。楽しみに赴任したのですが、時は令和2年、コロナ真っ盛りの時です。行事が軒並み無くなりました。そんな中、自ら見つけた行事は「西建の点線都道を歩く」でした。ご存じの通り西建の管内図には緑色の点線で書かれた都道が山の中を走っています。聞けば、歩ける道はあるとのこと、早速、現地に向かいました。時には道無き道を歩き、山栗を拾い、1年間の在籍でしたが、大方の

路線を踏破することができました。その中でおすすめコースは、日の出から御岳に抜けるルートです。つるつる温泉の脇から山道に入り、途中に平井川の源流を確認しながら日の出山の山頂、そして尾根を進めば御岳神社です。下りは、ケーブルカーを使わずに降りれば、軽自動車切り返ししながらやっと登れるつづら折りの都道を体感できます。新緑の頃がおすすめです。ただし、花粉症の方には辛いかも。その他、檜原から小河内峠を越えて奥多摩湖へ抜けるルート、奥多摩周遊道路に沿って進むルートもあります。マイナーなコースばかりですが、その分自然を満喫できます。

西建で卒業した後、公社に4年間勤め退職、今回、協会の会員にいただきました。防災ボランティア活動、現場見学会、ミニツアーなど、いろいろと参加していきたいと思っていますので、よろしくお願いします

〈飯田有貴夫さん〉

東部公園班

今年度から当協会に入会させていただいた飯



田です。東京都公園協会神代植物公園長を最後に定年退職し、その後、東京都公園協会に2年、東京都動物園協会に3年間お世話になりました。

現役当時は、小規模ながら、防災訓練の運営や、台風時等の気象災害対応も体験することができました。管理現場における経験を活かし、微力ながら都立公園等における各種訓練や、発災時における避難救援活動等の災害対応に少しでもお役に立てればと考えています。

今後とも、ご指導を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い致します。



協会からのお知らせ

- ① イベント等の開催予定
・今年度の総合防災訓練は、8月29日(金)～8月31日(日)に羽村市・日の出町合同で宮の下運動公園、日の出町民グラウンドほかで実施予定です。担当事務所班はよろしくお願いいたします。
- ② 各班からの活動報告を心よりお待ちしております。
下記編集担当理事又は西村まで原稿をお送りください。
西村アドレス(iwana-246ra@outlook.com)
- ③ 協会のH.P(東京都建設防災ボランティア協会掲示板 <http://tokyo-adv2.info/>)には、最新の情報、バックナンバー、建設局報などが載っていますので、積極的にご活用ください。なお、建設局報の閲覧には、パスワード「kyokuhou」の入力が必要です。

編集後記

6月は東京で真夏日が13日間観測されました。

西日本では早々と梅雨が明け、一層の猛暑が懸念されています。雨の降り方も変わり、猛暑と水不足は一昨年のお米の不作が思い起こされます。

そんな中、6月最終日に近所のスーパーで初めて備蓄米が販売され、米担当大臣の成果が身近に感じられるようになりました。

さて、最近ではトカラ列島の十島村で火山性地震が頻発しています。かつて1700年代に富士山を初めとして富士箱根伊豆(伊豆諸島を含む)の活火山群の噴火が発生しています。身の回りに様々な災害の根があることを考えさせられます。(Y・N)

発行人 相場淳司

発行 東京都建設防災ボランティア協会

〒163-0720 新宿区西新宿 2-7-1

新宿第一生命ビル 20F

(公財)東京都道路整備保全公社内

編集 岡村浩志、佐野正生、地引尚治、

西村行正、林幹生